

# KIHACHIRO KAWAMOTO AND TADANARI OKAMOTO, PUPPET ANIMATION FILMMAKERS



(左)『花折り』(1968年)より『大名』(左上から右回りに)『火宅』(1979年)制作中の川本喜八郎、『いばら姫またはねむり姫』(1990年)、『鬼』(1972年)、『花折り』(1968年)

展覧会

## 川本喜八郎+岡本忠成 パペットアニメーション2020

2020年12月19日[土] → 2021年3月28日[日]  
\*月曜日、12月28日(月)~1月4日(月)、2月1日(月)~8日(月)は休室です。



第1回『パペットアニメーション』パンフレット(1972年)

# OKAMOTO



(左上から右回りに)『虹に向って』(1977年)、『虹に向って』制作中の岡本忠成、『注文の多い料理店』(1991年)、『白い象』(1981年)。(右)『おこんじょうり』(1982年)より『おこん』

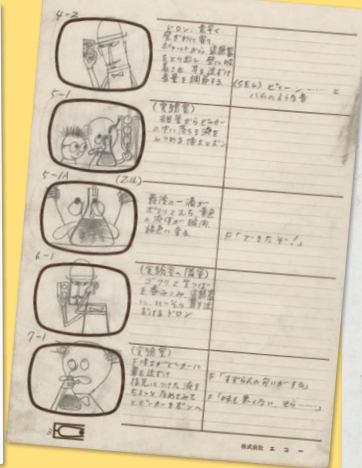
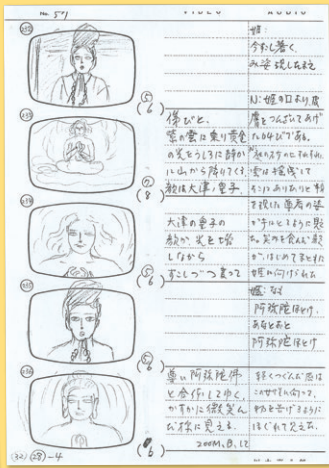
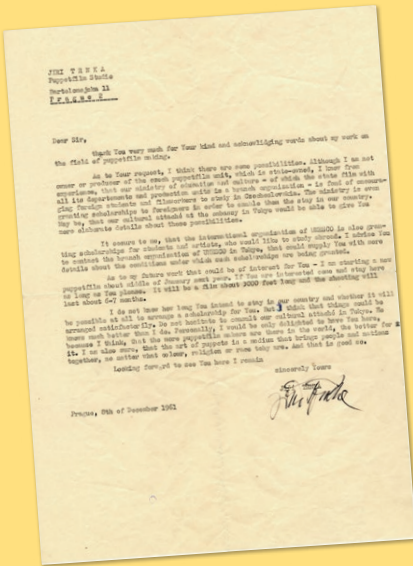


### 国立映画アーカイブ展示室 (7階)

【新型コロナウイルス感染症拡大予防のため】マスク着用のない方(2歳未満は除く)、体温が37.5℃以上の方は入館をお断りいたします。

開室時間:午前11時~午後6時30分(入室は午後6時まで) \*毎月末の金曜日のみ開室時間を午後8時まで延長いたします(入室は午後7時30分まで)  
料金:一般250円(200円)/大学生130円(60円)/65歳以上、高校生以下及び18歳未満、障害者(付添者は原則1名まで)、国立映画アーカイブのキャンパスメンバーズは無料  
\*料金は常設の「日本映画の歴史」の入場料を含みます。\*( )内は20名以上の団体料金です。\*学生、65歳以上、障害者、キャンパスメンバーズの方は入室の際、証明できるものをご提示ください。  
\*国立映画アーカイブの上映観覧券(観覧後の半券可)をご提示いただくと、1回に限り団体料金が適用されます。  
主催:国立映画アーカイブ 協力:有限会社 川本プロダクション、株式会社エコー、飯田市川本喜八郎人形美術館 企画協力:株式会社WOWOWプラス  
国立映画アーカイブホームページ www.nfaj.go.jp Twitter:@NFAJ\_PR Facebook:NFAJPR Instagram:nationalfilmarchiveofjapan





(左から)川本喜八郎宛てイジー・トルンカ書簡(1961年)、『死者の書』(2005年、川本喜八郎監督)絵コンテ、『ふしぎなくり』(1965年、岡本忠成監督)絵コンテ、『注文の多い料理店』(1991年、岡本忠成脚本・演出、川本喜八郎監修)色彩設定用絵画

川本喜八郎(1925-2010)と岡本忠成(1932-1990)は、日本のアニメーション映画、とりわけストップモーション撮影による立体アニメーションの分野でそれぞれ類なき功績を残した作家です。両者とも日本でこのジャンルの礎を築いた持永只仁のもとから巣立ちましたが、二人の歩んだ道は対照的です。

人形映画の先進国チェコスロヴァキアで学び直した川本は、自らの生み出す端正なキャラクターに魂を吹き込み、生涯を人形に捧げた求道者として、テレビの歴史人形劇や外国との合作にも活路を見出しました。一方で子どもたちに照準を合わせた岡本は、平面・立体・半立体を自在に使い分け、木・皮・布・毛糸・紙・粘土など多様な素材をアニメートして、主に教育映画の分野で創造性を発揮しました。7歳の差はあったものの誕生日が同じ二人は、よきライバルであり、互いのよき理解者でもありました。

1970年代には、互いの作品上映と人形劇を組み合わせた公演「パペットアニメーション」を共同で企画、6回にわたって開催し大きな話題を集めました。また後年、岡本の外界により制作が中断した『注文の多い料理店』(1991年)を完成に導いたのも、ほかならぬ川本でした。

当館は、フィルムセンター時代の2004年に「岡本忠成 アニメーションの世界」を企画、また二人の師・持永只仁を顕彰する展覧会も2017年に開催しました。そして川本の没後10年、岡本の没後30年となる2020年、再びこの分野に光を当て、人形をはじめとする撮影素材や作品制作のための様々な資料を展示し、二人の友情の象徴である「パペットアニメーション」の名を冠してその足跡をたどります。

Kihachiro Kawamoto (1925-2010) and Tadanari Okamoto (1932-1990) were artists who each left unparalleled achievements in Japanese animated film, particularly in stop-action animation. Both studied under Tadahito Mochinaga, who laid the genre's foundation in Japan, but their subsequent paths diverged substantially.

Kawamoto polished his craft in Czechoslovakia, which was a leader in the puppet film genre. Then, pouring his soul into the fine-featured characters he created, he discovered new avenues for TV historical puppet dramas and collaboration with overseas artists as an artistic adventurer who devoted his life to puppets. On the other hand, Okamoto set his sights on children. He demonstrated creativity primarily in the educational film genre by animating various materials including wood, leather, cloth, yarn, paper, and clay with free and ingenious use of flat, three-dimensional, and semi-three-dimensional qualities. These two artists, born on the same day seven years apart, were friendly rivals who understood each other well.

In the 1970s, Kawamoto and Okamoto united to produce shows titled "Puppet Animashow" that combined screenings of their works and puppet theater performances. The shows were held six times and attracted great attention. Later, when Okamoto passed away and left his work *The Restaurant of Many Orders* (1991) unfinished, it was none other than Kawamoto who stepped in to lead its completion.

In 2004, the National Film Archive of Japan (then called the National Film Center) presented an exhibition titled *Artworks from the Animation Films of Tadanari Okamoto*. And in 2017, we presented an exhibit honoring Kawamoto and Okamoto's mentor, Tadahito Mochinaga. Now, in 2020, ten years after Kawamoto's passing and 30 years after Okamoto's, we again shed light on this genre and retrace the footsteps of these two puppet animation artists.



**川本喜八郎(1925-2010)**  
東京・千駄ヶ谷生まれ。旧制横浜高等工業学校(現横浜国立大学)建築科卒業。1946年、東宝撮影所美術部勤務。フリーとなり、1951年劇作家の飯沢匠らと共に人形芸術プロダクションを設立し、本格的に人形制作を始める。持永只仁作品の人形作りにも携わりながら、1958年CM制作会社シバ・プロダクションの設立に参加。1963年にはチェコに渡り、イジー・トルンカに師事する。1968年、第1作『花折り』を発表。日本の古典に取材した題材で独自の表現を確立し、NHKの『人形劇 三国志』など人形美術家としても幅広く活躍。岡本忠成の遺作『注文の多い料理店』は川本の監修で完成した。国内各賞の他、海外映画祭でも多数受賞。



**岡本忠成(1932-1990)**  
大阪府豊中市生まれ。日本大学芸術学部卒業後、日本の人形アニメーションの礎を築いた持永只仁のMOMプロダクション入社。アメリカから受注した作品の制作に携わる。1964年に株式会社エコーを設立。第1作『ふしぎなくり』から人形アニメーションの世界に新風を送る。その後、木彫、和紙、毛糸、皮、粘土などの素材、フォークソングや童謡などの音楽、義太夫節や若手弁などの語りを用いた多様な手法と表現で、民話世界や社会諷刺など多様な作品を作りつづける。文化庁芸術祭大賞はじめ国内外で多数受賞。没後、その功績に対し毎日映画コンクール特別賞が贈られた。

## 「パペットアニメーション」とは

「パペットアニメーション」とは「パペットアニメーション(人形アニメーション)」と「パペットショウ(人形劇)」を組み合わせた造語で、川本喜八郎と岡本忠成によるアニメーション作品上映と人形劇上演を組み合わせた公演のタイトル。1972年にスタートし、特別公演を除いて1980年まで6回開催されて好評を博した。

## 作品上映 川本喜八郎+岡本忠成 アニメーション作品上映(予定)

2021年2月27日(土)、3月6日(土)  
会場:国立映画アーカイブ 小ホール(地下1階)  
\*詳細は後日ホームページなどでお知らせいたします。

## 関連企画

本展覧会の開催に連動して、川本喜八郎の『道成寺』や岡本忠成の『おこんじょうり』ほか、両作家の傑作アニメーションをセレクトし4Kデジタル修復するプロジェクトが始動!  
2021年5月8日(土)~ イメージフォーラムほかにて公開予定! (企画:株式会社WOWOWプラス)

\*その他、関連イベントを開催する場合は、ホームページでお知らせいたします。

マスク着用のない方(2歳未満は除く)、体温が37.5℃以上の方は入館をお断りします。

### 【当館の新型コロナウイルス感染拡大防止策】

\*来館者全員への検温を実施。\*館内各所に手指消毒液を設置。\*清掃・消毒を強化。\*展示室内の換気を強化。\*スタッフはマスク・手袋等を着用して対応。\*受付等の対面場所に飛沫ガードの設置。

### 【ご来館の皆様へのお願い】

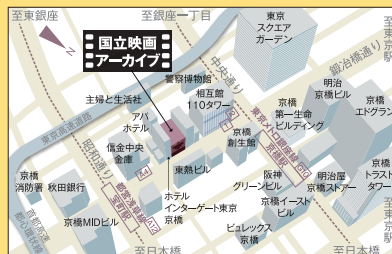
\*発熱や風邪などの症状がある方は、来館をお控えください。\*館内ではマスクを常時着用ください。\*館内で体調を崩された場合は、スタッフにお知らせください。\*こまめな手洗いや手指の消毒にご協力ください。\*入退場やご観覧の際は、互いに適切な距離を保つようお願いいたします。\*展示室内での会話はお控えください。\*ロビー等での飲食は、蓋の開まる飲み物以外は禁止にさせていただきます。\*感染発生時の入館者追跡のため、ご自身で入館日時の記録をお願いします。その他、感染防止に関する当館の指示をお守りいただけますようお願いいたします。



**長瀬映像文化財団**

国立映画アーカイブは長瀬映像文化財団の支援を受けています。

〒104-0031 東京都中央区京橋3-7-6  
お問い合わせ: ハローダイヤル 05-5541-8600  
国立映画アーカイブホームページ  
www.nfaj.go.jp



### 交通

- ▶東京外环线銀座線京橋駅下車、出口1から昭和通り方向へ徒歩1分
- ▶都営地下鉄浅草線宝町駅下車、出口A4から中央通り方向へ徒歩1分
- ▶東京外环线有楽町線銀座一丁目駅下車、出口7より徒歩5分
- ▶JR東京駅下車、八重洲南口より徒歩10分